

香蘭社の御壺

春  
蘭



香蘭社

〈4寸 原寸大〉



〈3寸 原寸大〉



永遠の安らぎの場所

新サイズ

4寸

径11.5cm  
×  
高14cm



背面



[1228-KJS4] 38,000円(+消費税)

木箱入

新サイズ

3寸

径8.5cm  
×  
高12.5cm



[1228-KJT3] 28,000円(+消費税)

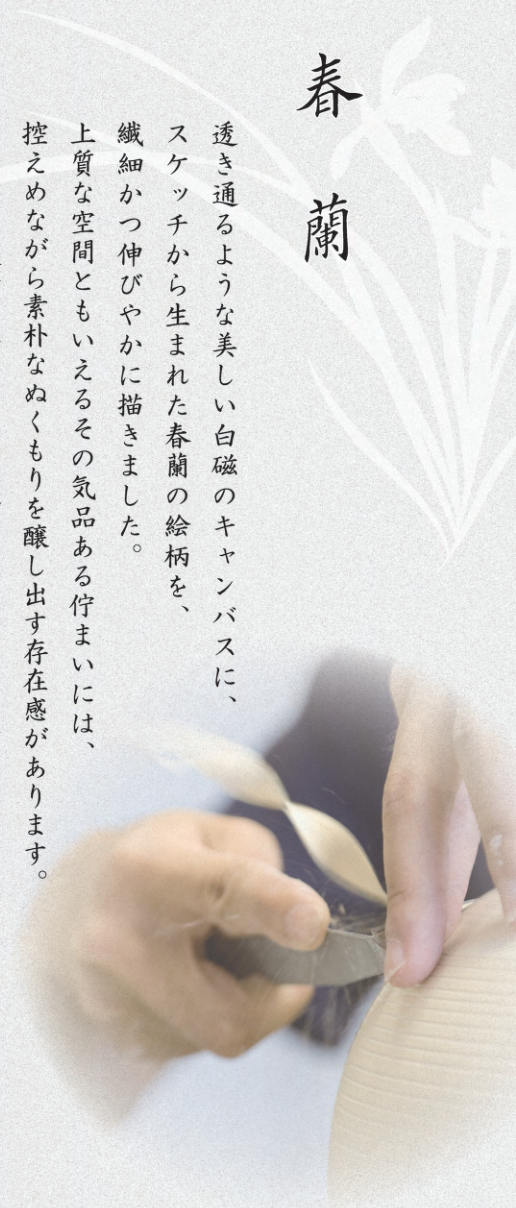
木箱入

〈4寸 原寸大〉



# 春 蘭

透き通るような美しい白磁のキャンバスに、  
スケッチから生まれた春蘭の絵柄を、  
繊細かつ伸びやかに描きました。  
上質な空間ともいえるその気品ある佇まいには、  
控えめながら素朴なぬくもりを醸し出す存在感があります。  
柔らかな表情を持った香蘭社らしいデザインです。



新サイズ

4寸

径11.5cm  
×  
高14cm



背 面

[1228-KJS4] 38,000円(+消費税)

木箱入

【別売】5寸・6寸用 覆袋

〈緑〉



〈青〉



〈白〉



5寸  
径15cm  
×  
高19cm



[1228-KJS] 40,000円(+消費税)  
窓付き木箱入

6寸  
径18cm  
×  
高20cm



[1228-KJM] 50,000円(+消費税)  
窓付き木箱入

7寸  
径22cm  
×  
高25cm



[1228-KJLN] 72,000円(+消費税)  
木箱入



香蘭社 有田本店社屋



1878年パリ万国博覧会 金賞受賞

### 香蘭社について — KORANSHA HISTORY —



八代 深川栄左衛門

初代深川栄左衛門が有田で陶磁器の製造をはじめたのが、江戸文化が花開いた元禄の頃。やがて日本にも近代化の波が訪れ、明治維新の激動期には、これまで有田焼を支えてきた佐賀鍋島藩の一切の保護と支援を失ってしまいます。

そんな中、八代深川栄左衛門は、当時の選りすぐりの陶工や絵付師、陶商たちを一つにまとめ、結社をつくりました。それが香蘭社のはじまりです。明治八年の発足以降、世界各国で開かれた万国博で数々の名誉金牌を受賞。海外でその評価を高めるとともに、明治二十九年には、宮内省御用達の栄を授かり今日に及んでいます。

有田色絵磁器の多様な文様を集大成し、時代と共に進化する伝統美は、「香蘭社スタイル」「香蘭社調」と称され、国内外で広く愛されています。

## 香蘭社

- 撮影・印刷の条件により、掲載商品の色、及び寸法が多少実物と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- やむを得ない事情により、商品の仕様の一部を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。